

2020年8月20日

一般社団法人グリーンピース・ジャパン  
事務局長 サム・アネスリー 殿

グリーンピース・アフリカ暫定  
事務局長 ラギ・トリバウ 殿

株式会社商船三井  
代表取締役社長 池田 潤一郎

拝啓 立秋の候、貴法人ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2020年8月14日付け貴信を拝受いたしました。

長鋪汽船株式会社が所有し、弊社が傭船するばら積み貨物船 WAKASHIO (本船) のモーリシャス島沖での座礁・油濁事故につきましては、モーリシャス政府及び同国国民をはじめとする関係各位に多大な影響とご迷惑をお掛けしております。

本船に関し、船主である長鋪汽船株式会社は、船舶を建造・所有し、乗組員を乗船させ、荷物を運べる状態にした上で、運航者である傭船者(弊社)に提供する役割を担っており、傭船者である弊社は一定期間船主から本船をチャーターし荷物の輸送を委託する立場にあります。

貴信にてご指摘いただいた各点につきまして、弊社としては、傭船者として、法令に則り、当局による調査等に対して積極的に対応する等、適切に対処する所存です。

また、事故を起こした航路及び化石燃料に係るご指摘に関しては、このような意見があることも踏まえ、今後本件のような事態が二度と発生しないよう取り組んでまいります。

今回の事故に際し、当社は、当局との連携、情報収集、油濁拡大防止、流出油回収の支援を目的に、当社社員を現地に派遣、また物資の調達及び輸送を開始しました。今後も人員の追加派遣や物資輸送を検討してまいります。引き続き、弊社は、モーリシャス及び日本の関係当局と連携して、船主と共に早期の事態解決に向けて取り組む所存です。

かけがえのない自然環境を維持し保護することの重要性につきましては弊社も日々認識し、再生可能エネルギーの活用等の事業化や環境負荷の少ない航路の開拓等を進めてきたところです。今回の事故に対しても適切に対処するとともに、より一層環境を含むサステナビリティに配慮した事業運営を行うべく取り組んでまいります。

敬具